



東京都立八王子西特別支援学校 特別支援教育だより

<https://hachiojinishi-sh.metro.ed.jp/>



令和6年度 第1号

令和6年6月4日

校長 坂口しおり

担当 渉外支援部

日頃より本校の教育活動に御理解及び御協力を賜り、感謝申し上げます。

「特別支援教育だより」は、渉外支援部が担当し、特別支援教育に関する情報提供や地域理解に関する情報発信をしていきます。

第1号では、特別支援教育のセンター的機能（概要）、昨年度オープンした「ビースマイルカフェ」、秋留台高校との交流、地域フラダンス、大学生への理解推進について紹介いたします。

東京都立八王子西特別支援学校は、 八王子市西部・西南部地域の特別支援教育のセンター校です

特別支援学校のセンター的機能には、次のようなものがあります。

- 巡回相談 特別支援教育コーディネーターが、幼稚園・保育園、小・中学校、高等学校に行き、支援方法ついてを一緒に考えます。
- 研修協力 教職員、保護者、関係者向けの研修会に協力します。
- 理解推進 副籍交流や学校間交流などの「交流及び共同学習」や障害理解を促進するための「理解推進出前授業」を行います。
- 教育相談 保護者の皆様の悩み事をお聞きし、解決方法を共に考えます。本校保護者や本校への就学や転入を考えている保護者の方等からも相談を承ります。

“ふれあいの場” “おもてなしの心” の、ビースマイルカフェ

「ふれあいの場」
「おもてなしの心」

Bee Smile Cafe - ビースマイルカフェは、
地域の方々のふれあいの場です！

特別支援学校の一環として、喫茶カフェの営業（接客サービス、各作業場（食品加工・縫製・リサイクル・植作業）の製品の展示・販売を行っています。心をこめて、ハンドドリップで入れた一杯、お茶・スタンプ等「おもてなし」の気持ちでお待ちしております。お茶・スタンプ等「おもてなし」の気持ちでお待ちしております。お茶・スタンプ等「おもてなし」の気持ちでお待ちしております。

営業時間
水曜日 10:30～11:45
木曜日 10:30～11:45
13:30～14:30
※ 学校休業日は除く

本校の正門を歩いて右手には、大きなウッドテラスとカフェが見えます。ここが「ビースマイルカフェ」。本校の高等部作業学習の授業の一環として、喫茶班が担当しています。カフェのドリンクやスイーツは本格的で、接客サービスにも力を入れています。販売するスイーツ（ケーキ・クッキー）は、併設する食品加工室で、食品加工班が作っています。

また、窯業班（小皿）・リサイクル班（消臭袋、ペーパーログ）・軽作業班（メモ帳、しおり）などの作業製品の展示販売も行っていて、地域の皆様とのふれあいの拠点となっています。

昨年度開校4年目に、ようやく地域の方々に御来店いただけることになりました。皆様からの温かい言葉にスタッフ一同、励まされています。

お近くにおいでの際は、是非お立ち寄りください。



- 営業時間 水曜日 10:30～11:45
木曜日 10:30～12:00
13:30～14:45
オーダーストップ 11:30 / 14:20

※ 営業時間が変わりました。



東京都立秋留台高校との交流～文化の祭典に参加

令和6年3月17日（日）にダンスが好きな高等部の生徒有志が、秋留台高等学校の「文化の祭典」に参加し、ダンスを2曲披露しました。

1曲目は、本校生徒のみのダンス「Haypa」です。秋留台高校の生徒さんが客席から拍手で応援してくれたことで、緊張がほぐれていくのを感じました。続いて2曲目は、秋留台高校でも、この日のためにオンラインで一緒に練習してきた「ベテルギウス」です。秋留台高校の30名以上の生徒さんも舞台上がり一緒に踊りました。ダンス交流を通して、同年代の生徒との友好を深めることができました。



地域フラダンス交流

令和6年3月26日（火）に本校で地域の皆様を対象としたフラダンス交流会を開催しました。地域の方々17名の参加があり、教職員と交流しながら、ダンスインストラクターに楽しくダンスを教わりました。

「ふるさと」をフラにアレンジした曲や、「うさぎ追いし」等の歌詞に合わせて踊りました。最初は真表情で顔で踊っていた参加者ですが、会が進むうちに、「こう踊るのね」とお互いに笑顔で声を掛け合う様子が見られました。



交流後は、「フラダンスは易しいイメージだったけど、思ったより難しい。でも楽しい」「心地よい汗が流せた」「またやる時は、声をかけて」などの声があがりました。

大学での講義～大学生への理解推進

令和6年5月15日（水）、特別支援教育コーディネーターが東京女子体育大学で、大学生を対象に講義を行いました。講義のテーマは「介護等体験に臨むにあたって」です。介護等体験とは、教員免許を取得するために特別支援学校で二日間の体験活動を行うものです。本校でも複数の大学から100名を超える学生の受け入れをしています。

講義では、特別支援学校の基礎知識と本校の学習で大切にしている「見て分かる」支援の必要性を体験活動を交えて話しました。学生の方は真剣な表情で話を聞き、体験では隣の学生と感想を言い合いながら、考えを深めている様子が見られました。講義の後、学生から「その立場になって考えられた」「目で見て分かるようにするのが大切だと知った」という感想が寄せられました。

【問合せ先】	東京都立八王子西特別支援学校	電話042-666-5600
	担当副校長 上田 慶子	
	特別支援教育コーディネーター	野口 あゆ美・守屋 智子